

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目 次 >

- 1 【 教振運動 】 目の前の教育課題を解決すること
 - 2 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

1 【 教振運動 】 目の前の教育課題を解決すること

教育振興運動は、“目の前の教育課題を解決する”ために、みんな（子ども・保護者・先生・地域の方・行政）が力を合わせて取り組もうというものです。

昭和40年の運動のスタート時は「学力向上」が喫緊の課題でした。その後、“知・徳・体”に対応して「健全育成」や「健康安全」が加わり、この3つの観点のうち、地域の実態として特に課題となっているものに重点を置いて取り組むこととしています。

近年は、岩手県の児童生徒は「テレビ等の視聴時間が日本で1番長く、家庭学習の時間や読書時間が少ない」という全国学力テストの結果を受けて、「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」を全県共通課題として提唱してきました。学校が推進する「いわて型コミュニティスクール」との連携によるこの取組も、“目の前の教育課題を解決するため”のものです。

そして今、“東日本大震災津波を被災した岩手県の目の前の教育課題”は何か。県教育委員会では、平成24年度教育振興運動推進方針として、「学力向上」「健全育成」「健康安全」の3つの観点に「復興教育」を加え、市町村の教育委員会及び教育振興運動推進協議会の皆さんに提示しています。

震災津波の教訓をこれからの生活に活かす防災教育に取り組むこと、子どもたちを支える地域コミュニティを再生すること、再認識した地域の絆を大切に、地域の将来を担っていく人材を育成すること、変化した価値観や自分の生き方に向き合うキャリア教育に取り組むこと、適切な学習環境を整えることなど、震災津波による新たな教育課題が山積していると考えます。

子どもたちは、地域の未来です。今の小学校高学年の児童や中学生が10年後、地域を牽引する力となっています。子ども・保護者・先生・地域の方・行政が

力を合わせて、これらの教育課題に取り組んでいきましょう。また、これらの教育課題は、沿岸市町村だけのものではないと思います。

「何に取り組むか（取組内容）」は地域の実態に応じて異なっても、「どのように取り組むか（取組方法）」は、“目的と役割を明確にするモデルプログラム”や“PDCAサイクルによる展開と評価の可視化の定着を図る全県共通課題”の取組と同じです。

また、子どもたちのために大人が本気になって力を合わせることは、地域の人間関係を強め、地域のコミュニティづくりにつながっていきます。今年度の取組の反省や今の地域の実態を踏まえ、目の前の課題解決に取り組んでいきましょう。

「震災津波の被災で教育振興運動どころではない」ではなく、今だからこそ、目の前の教育課題に地域ぐるみで取り組む教育振興運動が必要なのだと思います。従来の地域を取り戻す取組も教育振興運動ですし、現状を考え、従来の地域にとらわれず仮設住宅団地ごと等、新たな地域を再構築することも教育振興運動です。

「できない」と留まらず、実態を考えて「今、何が必要か」「どうすればいいか」をみんなで考え、一步踏み出しましょう。そこから始まると思います。

★平成24年度教育振興運動推進方針

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24kyousinhousin.pdf>

★「評価」を次年度に活かす雫石町の取組（広報教育しずくいし84号）

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/sizukuisi84.pdf>

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（清心ちゃん）教ちゃん、振ちゃん。こんにちは。

（振ちゃん）き・き・き、清心ちゃん！

（教ちゃん）こんにちは。「Hand In Hand」聴いたわ。素敵な曲を作ってくれて、ありがとうございます。

（振ちゃん）CDジャケットに、ぼ・ぼくたちのことも載せてくださいます、ありがとうございます。

★CDジャケット・デザインはこちら

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/handinhand_jacket.pdf

（教ちゃん）ちょっと、振ちゃん。落ち着いて！

（清心ちゃん）こちらこそ、ポスターやチラシに私のことを載せてくれて、あ

りがとう。私のイラストも、とっても可愛いいわ。

★ポスター・チラシ（歌詞カード）はこちら

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/handinhand_poster.pdf

（教ちゃん）この清心ちゃんと私たちの3人のイラストが載ったポスターは、県内の小中学校や社会教育施設に掲示してもらおうようお願いをするし、A4判に縮小したチラシは、歌詞カードとして使えるように、すべての小学生・中学生に配付するの。

（振ちゃん）そうでございます。イメージソングを収録したCDも小中学校に2枚ずつ配付するでございます。

（教ちゃん）朝の校内放送のオープニング曲として、また給食時間の始まりや掃除時間中の曲として流していただけると、みんなに口づさんでもらえると思うの。

（清心ちゃん）小中学生に皆さんに、喜んでもらえるとうれしいわ。

（振ちゃん）よ・喜んでます。ぼ・ぼくは、清心ちゃんのことを、だ・だ・大好きですから・・・。

（教ちゃん）おい、おい。どさくさまぎれに何を言い出すの。

（清心ちゃん）4月からは、皆さんの街を訪問して、直接歌いに行きたいとも思ってます。その時は、「Hand In Hand」を一緒に歌いましょうね。

（振ちゃん）ぼ・ぼくと一緒にですか～。そ・そんな、まだ早いです・・・。

（教ちゃん）おーい。大丈夫か～？まっ、こんな振ちゃんの話は、ほっといて、今日はありがとうございました。また、遊びに来てください。

（清心ちゃん）教育振興運動の仲間として、こちらこそよろしくお願ひします。

3【編集後記】あつしのひとりごと

春の選抜高校野球が始まりました。本県から出場した花巻東高等学校、東日本大震災で大きな被害を受けた石巻市の石巻工業高等学校の両校ともに敗退してしまいましたが、被災県の高校生が頑張っている姿を全国の皆さんに示してくれました。

石巻工業高等学校が出場した3月22日（金）のちょうど1年前。2011年3月22日は、部員たちがグラウンドの泥をかき出す作業を始めた日なのだそうです。「ひとつ片づければ、ひとつきれいになる」と松本監督が率先して、片づけ始めたそうです。

津波の被害を受けながら、そこから立ち上がり、自分たちの日常生活である野球をまた始めたい・・・と泥と瓦礫を片づけ始めてからちょうど1年。阿部主の選手宣誓のとおり、プレイでも「あきらめない心」を見せてくれました。

平成24年度を迎えます。復興元年として、各学校も市町村も新しい体制でのスタートとなります。ひとつひとつ確実に、一步一步着実に。“自分に出来ることを精一杯取り組む”ことが復興への歩みなのだと思います。

少しでも、そのお役に立つことができればと、このメルマガを配信しています。今年度もありがとうございました。また、来年度もよろしく願いいたします。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第66号は、4月10日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～64号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

～～～